

南予にもSOの活動を!



東予・中予だけでなく、南予にもスペシャルオリンピックス日本・愛媛の活動を広げること、それは私たちの長年の願いでした。幸いなことに関係者の努力によって、2018年7月15日、宇和特別支援学校でSOユニファイドスポーツデイを開催することになりました。その詳しい内容は次号のニュースレターでお伝えできると思いますが、私たちは南予 brunch の誕生を心から願っています。

ところで遠藤雅子さんの『スペシャルオリンピックス』（集英社新書2004）によれば、SOは1963年、故ジョン・F・ケネディ大統領の妹ユニス・ケネディ・シュライバー夫人が自宅の庭で開いた「デイキャンプ」（夏休み中に行われる林間学校に似た集いで、レクリエーション的要素を盛り込み、楽しみながらスポーツを教えた）から始まったといわれています。実はユニスさんの姉のローズマリーさんには、知的障がいがあったのです。氏は、「デイキャンプ」が障がいのある子どもたちに効果があることを確認し、1968年シカゴでそれを国際大会としてスタートさせました。

周知のようにSOでは、競技会に参加するアスリートを、まず「ディビジョニング」という方法で能力別に分けます。アスリートは、この「ディビジョニング」を経て、全員が決勝にのぞみ、日頃の成果を競うことになっています。競技ですから上位3位までのアスリートには金銀銅のメダルを、そして4位以下の全員にリボン賞を与えて表彰しています。

SOの貢献は、自己主張の機会や他人からの評価を受ける機会の少ないまま生きてきた知的障がいを抱えて生きる人に、スポーツを通して彼・彼女らの能力を引き出し、身体機能を向上させ、社会参加を応援することにあります。そのためにはファミリーはもちろん、コーチやボランティアそして財政的支援をしてくれる個人・団体・企業の存在が不可欠です。

私がこの4年、SOの諸活動に参加して思うことは、障がいをもつ人に関わる人たちのやさしさ、忍耐、情熱でした。アスリートにとって日常のトレーニングとその継続がいかに大切か。頭ではわかっています。

しかし、毎朝ラジオ体操を楽しく続けることは簡単ではありません。このように考えると、あたりまえのことがあたりまえのようにあること自体すごいことです。

あたりまえといえば、この「オレンジスピリット」が年4回、定期的に発行されていることもこの背後には活動があり、記事を書く人、写真で記録する人がいて、事務局スタッフの努力があるからです。もちろん印刷で支えてくれるボランティア企業があることも忘れてはなりません。

さて、2018年9月22日～24日は、SOの夏季ナショナルゲーム・愛知大会があります。9月2日には松山でトーチランも予定されています。ご参加・ご協力の程よろしく申し上げます。

【 理事長 山本万喜雄 】

不法投棄ゴミ撤去作業事業に参加しました!

今治くるしまライオンズクラブさんよりご案内を頂き、不法投棄ゴミ撤去作業事業に参加しました。愛媛県東予地方局今治支局、今治警察署、今治市並びに朝倉支所、各自治体、ボランティア団体総勢190余名の参加でした。

こうした事業に参加する事で、スペシャルオリンピックスのご理解ご協力を広めていければと思っています。当日は寒い中の奉仕活動、頑張りました。 【 今治ランチ 】

今治ランチのアスリート・ファミリーのみなさん、お疲れ様でした。



スペシャルオリンピックス日本・香川創立10周年記念チャリティランに参加して!



ワイナйнаさんとツーショットをとって、最高によかったです!!テレビでも放映されて、よかったです!!いつか、今度はケンブリッジ飛鳥選手ともツーショットを撮りたいです!!

【 アスリート 工藤右暉 】

「イオンふるさとの森づくり育樹祭」に参加して!

4月15日(日)、イオン今治新都市「イオンふるさとの森づくり育樹祭」に開店前の早朝に参加しました。当日には雨も上がり、大勢の人が集まりました。

参加した後、ボウリングプログラムを行いました。【 今治ランチ 】

気持ちの良い朝、友達やお母さんと楽しく草引きをしました。雨が降った後だから、次々草が引けて、あっという間に終わりました。終わった後のジュース美味しかったです。また皆と参加したいな。 【 アスリート 野島幹矢 】



手芸教室に参加して!

4月15日(日)松山・東温ランチの手芸教室におじゃましました。本日は「こどもの日」のミニ額作り。アスリート、ファミリーの皆さんは、先生のアドバイスをいただきながら小さなパーツを真剣な眼差しで器用に貼り付けていきます。しばらくすると、鯉のぼりや兜飾りのミニ額が出来上がり! 【 事務局 】

◇ 5月の手芸教室は、写真立てを作りました。

みんな結構早く出来、作品を手に嬉しそうでした。

【 松山・東温ランチ長 末松茂 】



ユニファイドスポーツデイ in 南予について!

今年のユニファイドデーは、宇和特別支援学校知的障がい部門さまのご厚意により、来る7月15日(日)に西予市宇和町にて開催されます。

今回はサッカープログラムを中心とした練習とゲームを行い、地元のアスリートや高校生たちと交流を図りたいと思っています。

またSON・愛媛が念願だった南予方面でのランチ立ち上げが、いよいよ具体的に始動する記念すべき決起大会も兼ねており、皆さまのご参加で大いに盛り上げていただきたいと思います。

アスリート、ファミリー、ボランティア他、お友だちなど大勢お誘いあわせの上是非ご参加をお願いします。

【 理事・ボランティア委員長 杉本太一 】

SON・愛媛 ユニファイドスポーツ

日時：平成30年7月15日(日) 10時～15時

場所：宇和特別支援学校 知的障がい部門 (西予市宇和町永長1287-1)

内容：10時～ 開会式

10時15分～ サッカー 練習プログラム

11時30分～ 昼食・アスリート交流・SON・愛媛説明

12時45分～ サッカー 試合

14時～ 閉会式

14時30分～ SON・愛媛 南予ランチ設立準備会



SON・広島陸上競技会に参加しました!

6月24日(日)、みよし運動公園陸上競技場にて2018年第5回スペシャルオリンピックス日本・広島陸上競技会が開催されました。

当日は梅雨の時期にもかかわらず、良いお天気でした。広島・愛媛・鳥取・香川の四県で49名のアスリートが参加し、熱戦を繰り広げました。

なかでも、玉井智也さんは自己ベストを更新し、金メダルを獲得!! 素晴らしかったです。

《 結果 》

1500m 玉井智也(1位)・鈴木智生(2位)・吉井昌和(3位)・村上裕樹(3位)

800m 塩崎将大(4位)

400m 曾我部慎也(1位)・村上浩樹(2位)・一色陽輔(3位)

4×400mリレー 鈴木・村上ゆ・玉井・吉井(2位) 一色・村上ひ・曾我部・塩崎(5位)



『念ずれば花ひらく』—ホノルルマラソンに咲いた花—

【 萩原貴美子 】



2016年28年11月の初めころ、村上千恵美さんから電話があった。

「うちの子たちをハワイのホノルルマラソンに連れて行ってください。」

「えーっ！無理よ！私たちは、もうフルマラソンを止めたので、走れないわよ。」

「せめてスタートラインに立たせるだけでもいいんです。」

私は、母親の夢と子供の夢をかなえてあげたいが、65歳を過ぎてフルマラソンを走る自信がなかった。しかし、夫と相談して、私たちも一緒に夢を追いかけてみようということになった。

村上裕樹さん、村上浩樹さん、曾我部慎也さん、鈴木智生さんの4人（以後敬称略）は、私が今治養護学校に勤めていた時の生徒で、在籍中からずっと走っている。SOで活躍しているし、いろいろなレースにも参加している。さらに、SOに入っていないが、高木裕次さん（以後敬称略）は、松山壘学校に勤めていたとき、中学部の生徒だった。卒業後から走り始めたそうだ。この5人と私と夫の寛が、ホノルルマラソンに参加することになった。

1年がかりで準備をし、2017年12月8日ハワイへ出発。全員で13人。添乗員なしの旅行である。マラソン前日、旅行会社の車でコースの下見をした。緩やかなアップダウンがあるが、私的には走りやすそうなコースであった。

さあ、いよいよホノルルマラソンだ。夜中の2時起床。3時半に送迎バスでホテルを出発。4時頃スタート地点に到着。準備体操をしてトイレへ。長蛇の列に並ぶ。全員がトイレを済ませたとき、スタート10分前だった。早くスタートラインへ行かなくては！！すでにたくさんのランナーがスタートを待っているが、困ったことに、走る道路と今いる広場との間には小さな小川があって、橋を渡らなければならない。

その橋はずっと向こうだという。皆で走った。やっと橋を渡り、人の山をかき分けかき分けし、スタートラインに出ると、目の前にやぐらがあってその上で男の人がピストルを空に向けていた。

「寛さん、スタートまであと何分？」「2秒前！」パ～ン！！朝5時。真っ暗な闇に向かって先頭が一斉にスタートした。裕樹、浩樹、慎也の3人をその流れに押し込んで、「一人で頑張るのよ！」と声を掛けて送り出した。3人はあっという間に見えなくなった。智生は、暗いところは見えにくいので、私としっかり手をつないで走る。初マラソンの裕次は、夫が手をつないで走った。スタートと同時に花火がドンドン、パンパンにぎやかに打ち上げられ、夜空を明るく染めたが、私たちにはそんな花火を見る余裕や写真を撮る間もなく、黙々と走った。

観光名所のダイヤモンドヘッド辺りは約10キロ地点だが、まだ薄暗く、景色を楽しむことはできなかった。

コースの真ん中でロープを持ったボランティアの人たちが応援してくれている。智生に彼らとハイタッチすることを教えると、次々と楽しそうに手を出していた。13キロを過ぎたころには夜が明けて明るくなり、周りの景色が見えるようになった。そろそろ智生も一人で走れそうだ。手を放してしばらく並走したが、これなら大丈夫と確信したので、「智くん、もう一人で走れるよ。先に行っていていいよ。」と、送り出した。智生は、元気よく「はい！」と言って、私から離れていった。それまでもっと早く走りたかったらうに、私のゆっくりペースに合わせ、じっと我慢してきた力をパッと発揮し、あっという間に見えなくなった。すぐそばを走っていた裕次と夫は、手を離れたものの裕次を一人で走らせる自信はなく、私たちと一緒に走るよう指示した。18キロを過ぎてから、裕次は少しずつ先に行くようになり、しきりと私を見て合図を待ったが、一緒に走るように伝えた。しかし、彼は我慢ができなくなって、ジグザグ走行をし始めた。もう限界かな？そう思った私たちは、「一人で走っていていいよ。」とサインを送った。裕次は待ってましたとばかりにピューっとなってしまった。私たちは、右端と左端を走り、5人のうち誰かが走れなくなっていないかチェックしながら走った。



霧雨が降り始めた。ハーフ地点を過ぎて、折り返してきた裕樹も雨に濡れていたが、いつものように元気にゴールを目指して走っている。「裕樹、がんばれ！」と声を掛けた。5キロくらい後に慎也にも会った。彼もまた一人で懸命に走っていて、ゴールまでいけると確信して見送った。その後はだれにも会わなかった。あとの3人が無事に走っていることを祈りながら、私は、痛む足を引きずるように走った。30キロを過ぎてから緩やかな登坂が続く。後ろの方の人たちは歩いている。それでもゴールを目指していればいい。制限時間はないのだから。やがて、雨がやんで空に虹がでた。うれしかった。

ダイヤモンドヘッドの坂を上り切った。あと2キロだ。ここまで彼らに会わなかったということは、きっとゴールしたに違いない。私は、この1年間のホノルルに向けた取り組みを思い出していた。子供を支え、一緒に夢を追いかけたお母さんたち。どんなことがあってもゆるがない愛と勇気。夢を持つ人は強い！私も一緒に夢に向かって歩むことができた。老化に打ち勝って、67歳でフルマラソンを走ることができた。ありがとう！

裕樹、浩樹、慎也、智生、裕次そしてお母さんたち、それに寛さん！そんなことをいろいろ思っていると、熱いものが胸にこみ上げ、涙があふれた。声を出して号泣した。沿道で応援の和太鼓が鳴り響き、私の泣き声はかき消されたので思い切り泣いた。夫は私のそんな姿を見たことがなかったので、びっくりして心配そうに声を掛けてくれた。

残り1キロの直線コースは、2人で「ファイト！」「はい！」と声を掛け合いながらリズムをとって走った。

目標の6時間を切ってゴール。すぐにみんなの所へ行って確認した。全員ゴールしたとのこと。あ～あ、よかった！！裕樹3時間00分00秒。すごいタイムだ。こんなにぴったりのタイムなんて出たくても出ないのに・・・慎也4時間04分50秒。2回目のフルマラソンなのにこのタイム。彼の努力と集中力の成果だ。

浩樹5時間03分04秒。途中何が起こっても必ずゴールしてくれると信じていた。自分のペースをよく知っていて、焦らずにゴールを目指したのだろう。智生5時間13分56秒。この子もずっと以前に1回フルを走ったことがあるだけでこのタイム。途中までゆっくりと私と走っていたのに、一人になってさぞかし孤独で不安だったろう。本当によく頑張った！裕次5時間30分20秒。初マラソンでこのタイムにはだれもが驚愕。早く私の縛りから解放されたかたに違いない。許してね！完走した裕次自身、自分の力に驚いていることだろうが、誰よりも喜んだのはお母さんだった。

全員完走という快挙を成し遂げ、ホノルルマラソンは終わった。私の人生で、こんなに感動的で達成感、幸福感、感謝の念に浸ったことはない。これも一人ではなく、仲間と共有できたことでさらに何十倍にもなった。

『念ずれば花ひらく』 毎日手を合わせ念じ、一步一步努力したことによって花を開かせたホノルルマラソン。咲いたこの花は、今も色あせることはない。ありがとう！！



ホノルルマラソン

【 一色環 】

村上浩樹君・裕樹君がマラソン大会に出場する時、私も一緒に行って生活のサポートをしていました。そこではスペシャルオリンピックスのメンバーやその家族、あちこちの大会で一緒になる障がいを持った方や家族と親しくなりました。時間待ちの時、「いつかホノルルマラソンに行きたいね。」と話していたことが現実になったのです。

アスリート5名、家族5名、伴走者2名、そして私、総勢13名で行ってきました。ワイキキビーチに近いホテルだったのでいつでも泳げますが、12月はハワイも冬。私には肌寒くて、泳ごうなどとは少しも思いませんでした。

大会前日は、バスでコースの下見をしました。42.195kmは遠いですね。上り下りやトイレのチェック。応援する人のいない高速道路を走るときは、しんどいだろうなあ。

当日は午前2時起床、軽く朝食を済ませスタート地点にバスで移動。まだ暗い午前5時、たくさんの打ち上げ花火でスタートです。およそ25,000人（その半数ぐらいが日本人だそうです）が走りました。

お母さんたちと私はスタートを見送った後、ゴール地点へ移動です。移動しながら、アスリート5人と伴走者2名をしっかり応援しました。どこで出会えるかも分からなかったのに、全員に出会えたことは本当にラッキーでした。1時間余り歩いてゴールに到着。3時間ぴったりで村上裕樹君がゴールしました。残り4人と伴走者も6時間までにゴールです。素晴らしい！



第6回フレンドシップ競技会

1月21日(日)

たった3ファミリーの新居浜ランチですが、6回(6年)も継続している事に驚きます。今年も船木中学校バドミントン部の生徒さんとゲームを楽しみました。中学生を中心に私たちの活動が地域で根付く事を心から願っています。



【参加者感想】 本当にたくさんの感想を頂きありがとうございました。一部ご紹介します。

♥障がい者の方と一緒にバドミントンをする機会はありませんが、この活動を通して体験できたことはとても良い経験だと思います。

バドミントンは健常者でも障がいを持っている人でもできるスポーツだという事を初めて知りました。

この体験からどんな人にも気配りができるような人になりたいです。

♥今年は2度目で昨年の幼い学びではなく少し大人に近づけたように感じました。勝つことばかり考えていた自分でしたが、今年は慣れないダブルス相手との試合でよく話し自分がリードして楽しむ事を意識しました。

これからの試合でも今回の体験のようにたくさん学ぶように自分からしたいです。

♥障がい者の方とバドミントンを通して関わることができたので良かったです。思った以上にとても強い方もいたのでびっくりしました。障がいの方でも健康な方でも一緒にバドミントンを楽しめるという事をわかって貰いたいと感じました。これからも参加したいです。

♥みんなとバドミントンするのはとても楽しかったです。結果はどうであろうといろいろな人とバドミントンをする事ができたので楽しかったです。

♥僕は一回も勝てなかったけど大人の人とバドミントンができて嬉しかったです。もっと強くなりたいなあと思いました。またいろいろな人と試合をしたいと思いました。

♥障がいを持った方と交流してみて、試合はたくさん勝って嬉しかったけど負けそうになる位強い人もいて結構本気で頑張りました。最後の方まで勝ち残りでしたが後一步のところで負けたのがやっぱり悔しかったです。試合の点数を競う事だけでなく障がいを持った方との親しみ方も学びました。

新居浜市にも支援学校ができてから障がい児が校区の小中学校から姿を消しつつある中、障がい者に対する認知度も薄れてきています。大人になった障がい者が不審者扱いされないよう少しでも理解の輪が広がる事を願ってこれからも続けていきたいと思っています。



中学生のボランティア受入れ協力団体の登録をしました。

【 新居浜ランチ 村上 】

えひめ5時間リレーマラソンに参加して!

6月16日(土)

6月16日(土)に、チームで1本のタスキをつなぎ走る「えひめ5時間リレーマラソン」がニンジニアスタジアムで行われました。今年は542チーム4,741人の参加があり、今回はSON・愛媛から一般の部に2チーム作り参加しました。

初夏を思わせるようなさわやかな青空の下、最後まで楽しく、皆でタスキをつなぐことができました。1周約1.2キロのコースをSON・愛媛Aチームが45周、SON・愛媛Bチームが43周を走り切り、仲間と力をあわせて走る達成感を分かち合いました。
【 西条ブランチ 】



僕は初めて5時間リレーマラソンに参加しました。僕たちのチームは6人で走りました。僕は午前中に4周、午後から3周走りました。暑かったけど頑張りました。

6人で5時間走ることができて嬉しかったです。またリレーマラソンに出たいです。
【 アスリート 吉井昌和 】



がんばれ!

今回も縁あって、伴走という形で一緒に活動させていただきました。参加者がとても多く、大会を盛り上げるための大音量のBGMやアナウンス…そのような中でもアスリートたちは集中力を保ち、普段の練習の成果を発揮し、見事タスキをつなぎ切りました。

5時間の中でも、1回目の走りよりフォームがよくなったり、「一人で行けます!」と自分だけで走ろうとする気持ちが芽生えたりと、アスリート達の成長に喜びと嬉しさを感じた、充実した1日となりました。ありがとうございました。

【 伴走者 大西薫 】

えひめ5時間リレーマラソンに参加したアスリートをはじめ、運営を支えてくださいましたボランティアのみなさま、本当にお疲れ様でした。感動をありがとうございました。

【 事務局 】



2018年ニュースレター賛助会員名簿（個人のみなさま）

2018年1月1日～6月30日

相原健二	相原佐奈江	青野毅	赤尾さとみ	秋山一郎	明比美佐子	浅井重喜	浅井則生
浅井八重子	飯尾久美子	池田和弘	池田佐智子	池田祐二	礪真理子	一色環	一色豊
石丸妙子	和泉智恵子	和泉義人	伊藤雄二	井上博	今崎一洋	印南扶美恵	岡部靖雄
大西薫	大西環	大西文子	大野文	大野順一	大原勝志	大原しのぶ	緒方美津子
萩山桃代	小倉晃一	小倉ゆき	越智和代	落合操	梶原隆司	数野奏美	片上嘉予
加藤敏浩	加藤紀子	亀田均	亀田優人	苺田欣也	川上ヒロ子	河北万里	木原明美
木原誠哉	公原憲代	公原泰夫	木村尚人	清川美和	工藤美奈子	久米隆	久米敏子
久米恵	栗田猛司	栗田弥和	鴻上千春	鴻上康孝	合田久子	児島秀雄	近藤宏味
佐々木章公	佐々木貴裕	佐々木民子	佐々木有希子	塩崎晃英	塩崎英雄	篠原博	柴田徳子
清水眞弓	秀野光江	白石敦彦	白石美奈子	末松茂	末松ひとみ	隅田貴美子	
杉森朝日新聞舗		鈴木豊博	鈴木文子	角倉正雄	角倉若美	関宏孝	仙波康司
仙波良三	曾我部冬子	高岡孝一	高岡央行	高岡令子	高木悦野	高木賢次	高木弘子
高木正敏	高橋明	高橋健太郎	高橋さゆり	高橋猛	高橋信晃	田口千春	田口喜久
武田圭子	武田正直	田坂栄二	田坂有祐	田所美恵	田所裕樹	田中小百合	田中博
田中真澄	谷本加代	玉井茂明	田村千代子	出水和紀	出水正雄	土居マサ子	土居則行
時岡洋佑	時岡美恵	徳増真弓	年森恭子	中岡正美	仲神繁秋	中川隆幸	中川真奈美
永井富子	長野一朗	永易信正	長山成生	長山伸一郎	難波江千春	野島小百合	野田雅仁
萩原寛	萩原貴美子	橋本治子	鳩崎美穂子	馬場耕三	花本俊男	浜原光男	浜原道由
東奈々	日野和幸	日野眞理	福島隆広	福島久子	福田佳代子	福樹正	福樹恵
藤井恵美子	藤田いづみ	星加英子	星加智也	本庄菊子	松下康平	松下里美	松田佳彦
松田玲瑠	松長和志	松長宏樹	松本義雄	松浦侯子	真鍋光恵	真鍋優斗	三馬澄子
三馬崇一	水崎圭二	水崎理恵	三谷治子	宮崎雅延	宮内芳美	宮岡賢子	宮岡俊雄
宮道健二	村上潤二	村上卓也	村上千恵美	村上直子	森内雅子	森平純子	森本里美
矢野信子	山内清	山内眞二	山田広子	山平俊介	山平眞美	山本修嗣	山本寿
山本正敏	横井直美	吉井章雄	龍門壮太	龍門洋美	渡邊一彦	渡辺晴美	渡辺文喜
渡部房子	渡部正之	渡部美穂	渡部有架	和田麻喜			

2018年ニュースレター賛助会員名簿（企業・団体のみなさま）

2018年1月1日～6月30日

株式会社石原自動車教習所	伊藤自動車株式会社	株式会社伊予銀行	株式会社イーエルプランニング	
株式会社イクシオ	風早集会所	株式会社小倉葬祭社	株式会社社長曾鉄工所	株式会社レディ薬局
国際ソロプチミスト松山	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	伯方塩業株式会社		
社会福祉法人日野学園	ふきのとう	不二印刷株式会社	株式会社松山ステージサービス	
三浦工業株式会社	有限会社合田機工商会	有限会社ニュースポーツ	有限会社西条製作所	

発行 NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・愛媛

〒790-0967

松山市拓川町3番地44号 日野学園内

TEL・FAX 089-941-5630

メールアドレス : son_ehime@son.or.jp

SON・愛媛 HP: <http://www.son-e.com>

皆さまありがとうございました。

心より感謝申し上げます。

今年度もいろいろな活動を

していきますので、

応援をよろしくお願い

致します。【事務局】



※ このニュースレターの印刷は、富士ゼロックス四国(株)様にご協力いただいております。